

地域周産期母子医療センターの認定について

【認定病院】

大同病院

【認定年月日】

平成 31 年 4 月 1 日

【基準適合状況】

資料 5 - 2 「大同病院の整備状況」 のとおり

【参考】

○地域周産期母子医療センター

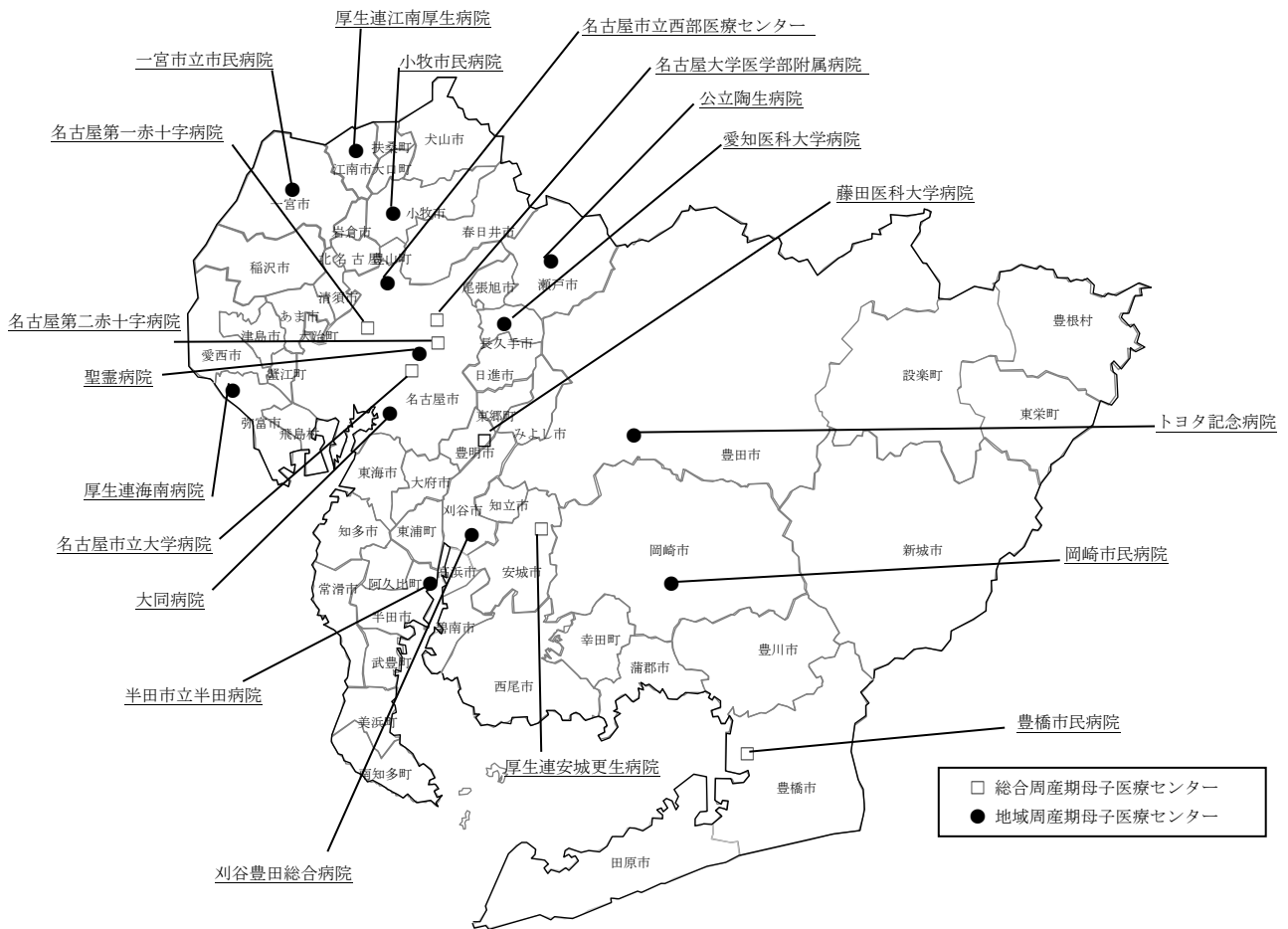
産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設を**都道府県が認定**するもの。

地域周産期医療関連施設等からの救急搬送や総合周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携を図るものとする。

○総合周産期母子医療センター

相当規模のMFICU（母体胎児集中治療室）を含む産科病棟及びNICU（新生児集中治療管理室）を含む新生児病棟を備え、常時の母体及び新生児搬送受入体制を有し、合併症妊娠（重症妊娠高血圧症候群、切迫早産等）、胎児・新生児異常（超低出生体重児、先天異常児等）等母体又は児におけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行うことができるとともに、必要に応じて当該施設の関係診療科又は他の施設と連携し、脳血管疾患、心疾患、敗血症、外傷、精神疾患等を有する母体に対応することができる医療施設を都道府県が指定するもの。

周産期母子医療センターの状況 (令和元年 10 月 1 日現在)



医療圏	病院名	
	総合	地域
名古屋・尾張中部	名古屋第一赤十字病院、 名古屋第二赤十字病院、 名古屋大学医学部附属病院、 名古屋市立大学病院	名古屋市立西部医療センター、 聖霊病院、大同病院
海部	—	厚生連海南病院
尾張東部	藤田医科大学病院	愛知医科大学病院、公立陶生病院
尾張西部	—	一宮市立市民病院
尾張北部	—	小牧市民病院、厚生連江南厚生病院
知多半島	—	半田市立半田病院
西三河北部	—	トヨタ記念病院
西三河南部東	—	岡崎市民病院
西三河南部西	厚生連安城更生病院	刈谷豊田総合病院
東三河北部	—	—
東三河南部	豊橋市民病院	—

(総合) 7 施設 (地域) 13 施設 □ は救命救急センター併設